

9 イベント

場面：ニュース番組の一部

状況：地域のイベントのニュース。途中で女性参加者と男の子のインタビューが流れる

登場人物：

A (男性、アナウンサー)

B (女性、イベント参加者)

C (男の子、イベント参加者)

(時報)

A: 時刻は午後4時を回りました。ニュースをお伝えします。

昨日、北国の自然を活かしたイベント、「笹沼市雪合戦大会」が開催され、多くの選手や観客でにぎわいました。

この大会は、かつて子どもたちの遊びとして親しまれてきた「雪合戦」を、スポーツとして発展させたもので、今年で30回目。今や冬の笹沼市を代表する一大イベントとなっています。

今年は全国からのエントリーも多く、合計150チームが参加を希望しました。しかし、大雪の影響で、残念ながら27チームが出場をキャンセル。最終的には123チームが参加しました。

試合は、会場に設置された雪のフィールドで行われ、選手たちはヘルメット、ゴーグル、プロテクターなどを着けます。事前に作った雪玉を投げ合いながら、陣地を守り、時には攻めるといって、本格的な競技となっています。

競技は「大人の部」と「子どもの部」に分かれ、どちらも予選から決勝まで白熱したゲームとなりました。

とくに注目されたのは、ひかり市と井原市から参加した女性チーム。友人同士で結成したこのチームは、今回が初出場とのこと。

B: 両サイドに分かれて、チャンスが来たら突っ込むという作戦でした。呼吸を合わせるのが難しかったです。うまうまといって嬉しかったです。雪の中で心も体もポカポカになりました。」

A: また、東京から家族とともに参加したという小学生の男の子は、子どもの部でチームのエースとして大活躍。

C: 「飛び出していくときが一番スリルがあって楽しかった！雪玉をよけながら走るのがすごくドキドキした」

A: この日の会場は、一日を通して雪が降り続き、気温も氷点下まで下がる厳しい寒さでしたが、参加者たちは雪と触れ合う時間を存分に楽しんでいる様子でした。